

## 園だより 4月

あなたがたは神に愛されている子どもです。

エフェソの信徒への手紙 5章1節

ご入園・ご進級おめでとうございます。

4月に入り穏やかな春の日差しの中、昨年度子どもたちが植えた満開のチューリップを楽しみながら、保育者たちは心新たに出会う子どもたちに想いを馳せ、今年も一人ひとりに思いを込めたマークを考え描き、お部屋の環境を整え、新年度の備えをして参りました。そして今日、2023年度がスタートいたしました。

新たな年です。ご希望されるご家庭に給食（業者からのお弁当）が始まったり、お預かり保育の最長時間が18時まで延びたりと、新しい試みもスタートします。社会の状況に対応していくことはとても大事なことです。それにより、より沢山の方々と江東YMCA 幼稚園との出会いがあり、共に過ごしていただける嬉しい広がりともなります。それとともに、変わらない、変えない大切なこともあります。幼稚園生活は子どもたちが主体的にその自らの力を十分に発揮し、どの子どもたちにとっても「いのちを輝かせる日々」であること、子どもたちの伸びゆく力を信じて過ごしていく生活であることはこれからも変わることがありません。そのために、保育者たちは今年も新年度の備えの日々を細々とした沢山の手作業に想いを込め、子どもたちを迎えるために慈しみながら準備を進めてきました。その日々は一見、どんどん合理的になっている今の時代には合わない進め方の様に思えるかもしれませんが、けれども、あえてその一つひとつに心を通わせながら行うことが子どもたちへの想いに重なって行くと確信する、保育者たちの心の備えの日々でもあるのです。その目には見えない子どもたちへの想いはこれからの日々にどれだけの豊かさを添えることでしょうか。子どもたちはその様に備えられた環境の中で、自分たちを慈しむ保育者の想い、整えられた環境を五感で感じ取りながら過ごしていきます。

「豊かな遊びの生活」が始まります。子どもたちはどれほどに自らの想いを巡らせ、心と体を動かし、沢山の学びが成されることでしょうか。楽しみです。

保護者の皆様、子どもたちの成長を「共に」見守っていただけますことを宜しくお願い申し上げます。神様のゆるぎない御手に支えられつつ...

園長 駿河 幸子